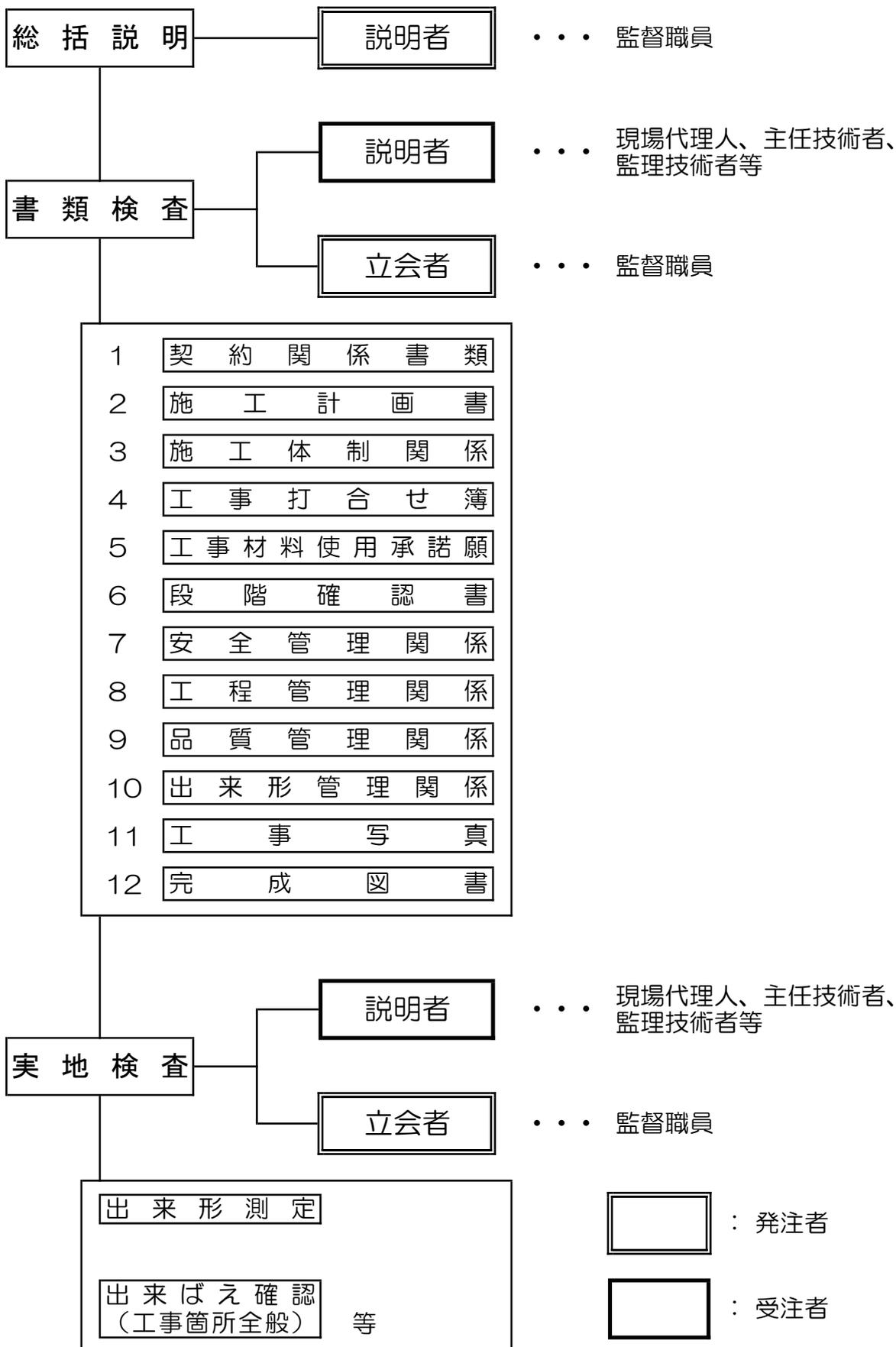
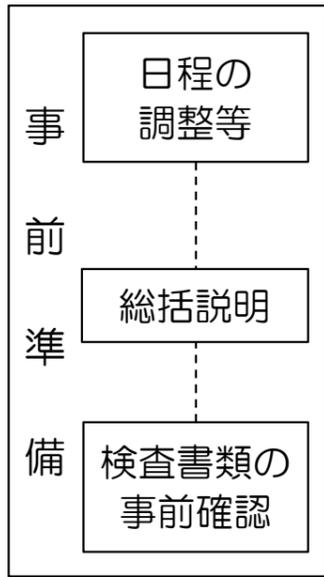


受 検 体 制

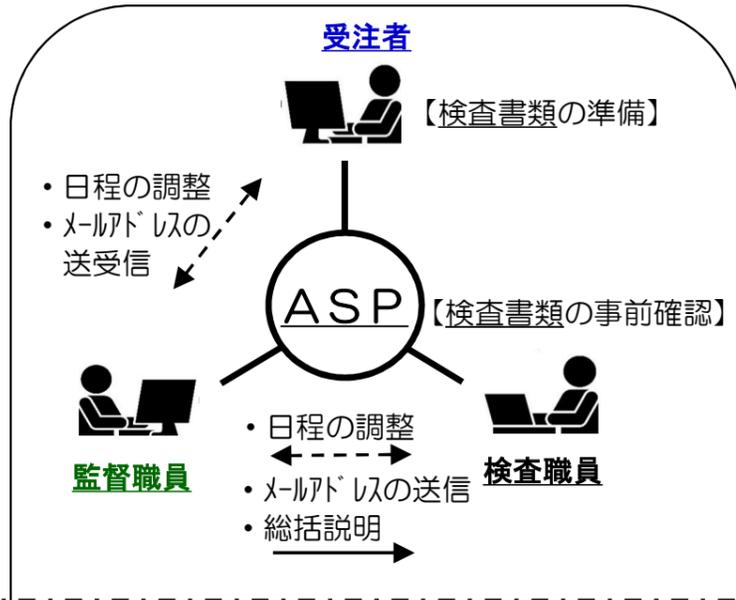
工事検査の実施にあたっての受検体制は、下記を標準とします。



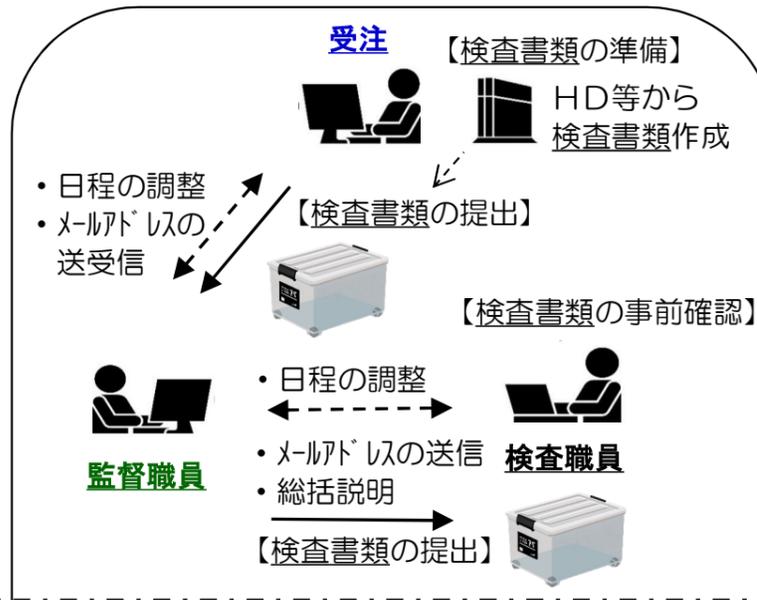
工事検査のイメージ



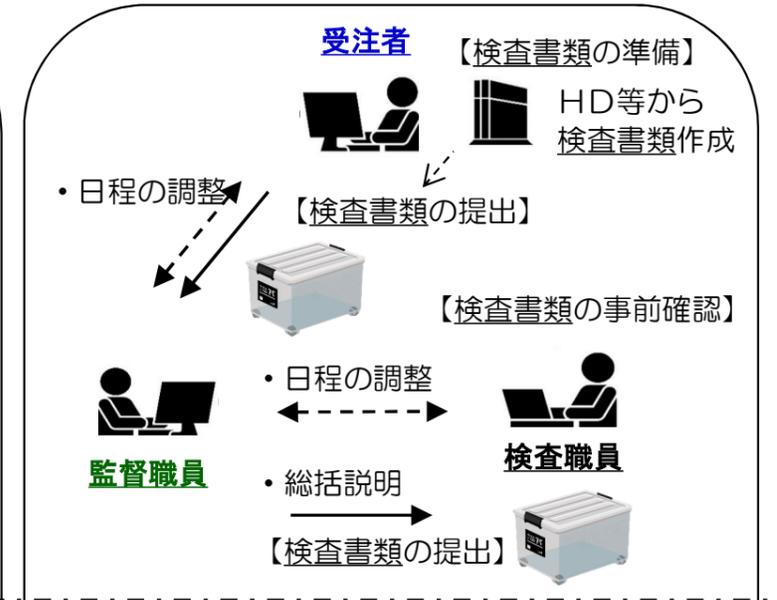
Web会議システムによる検査【リモート検査】
情報共有システム（ASP）活用工事



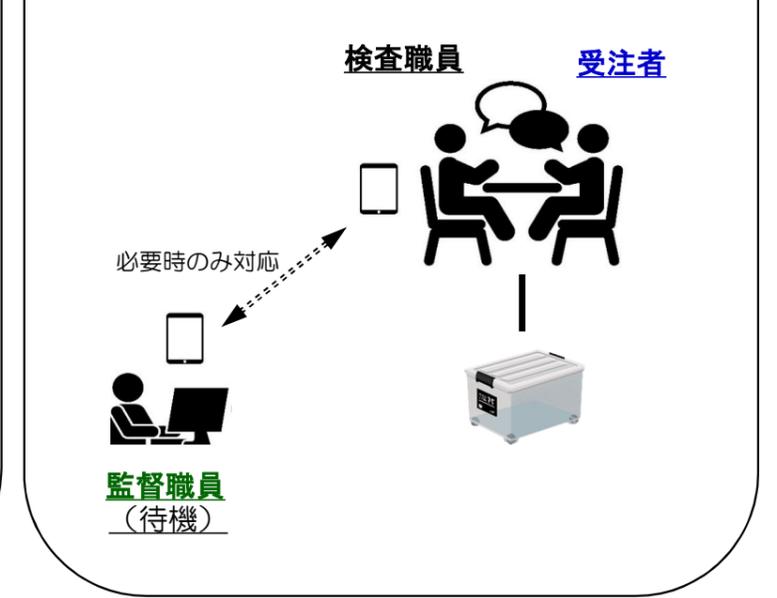
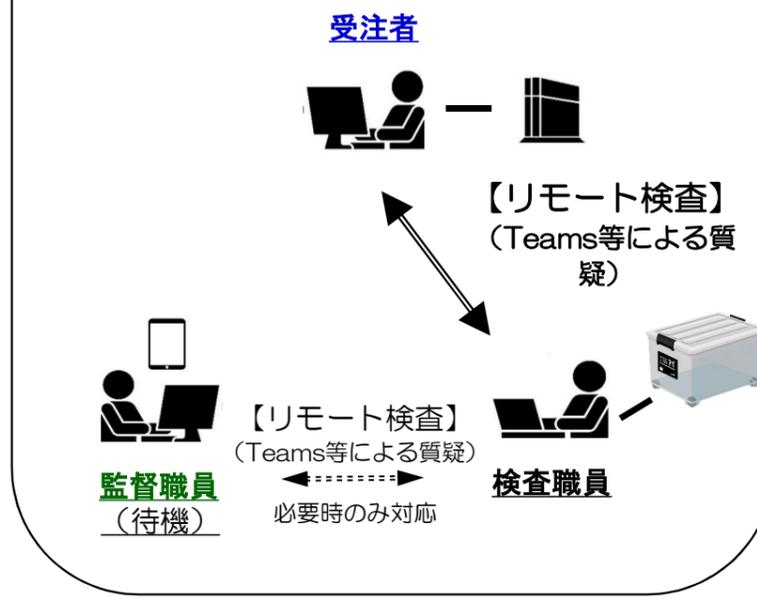
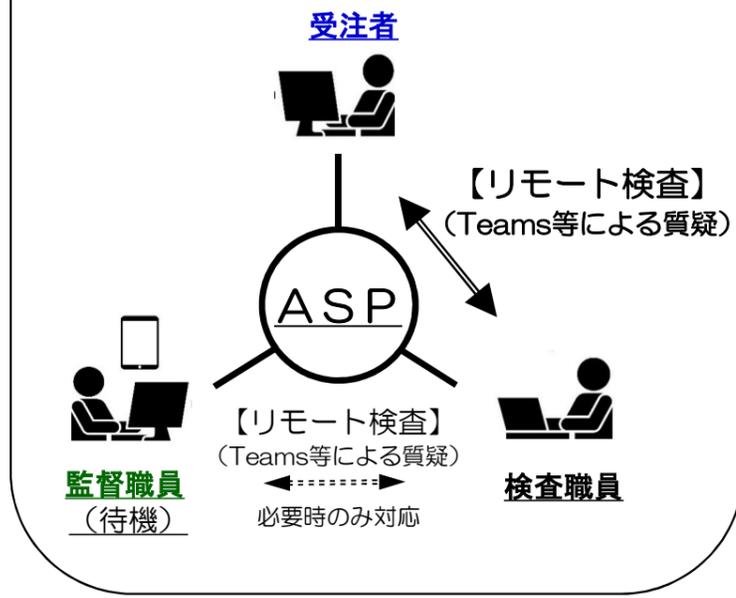
Web会議システム等による検査【リモート検査】



対面による検査



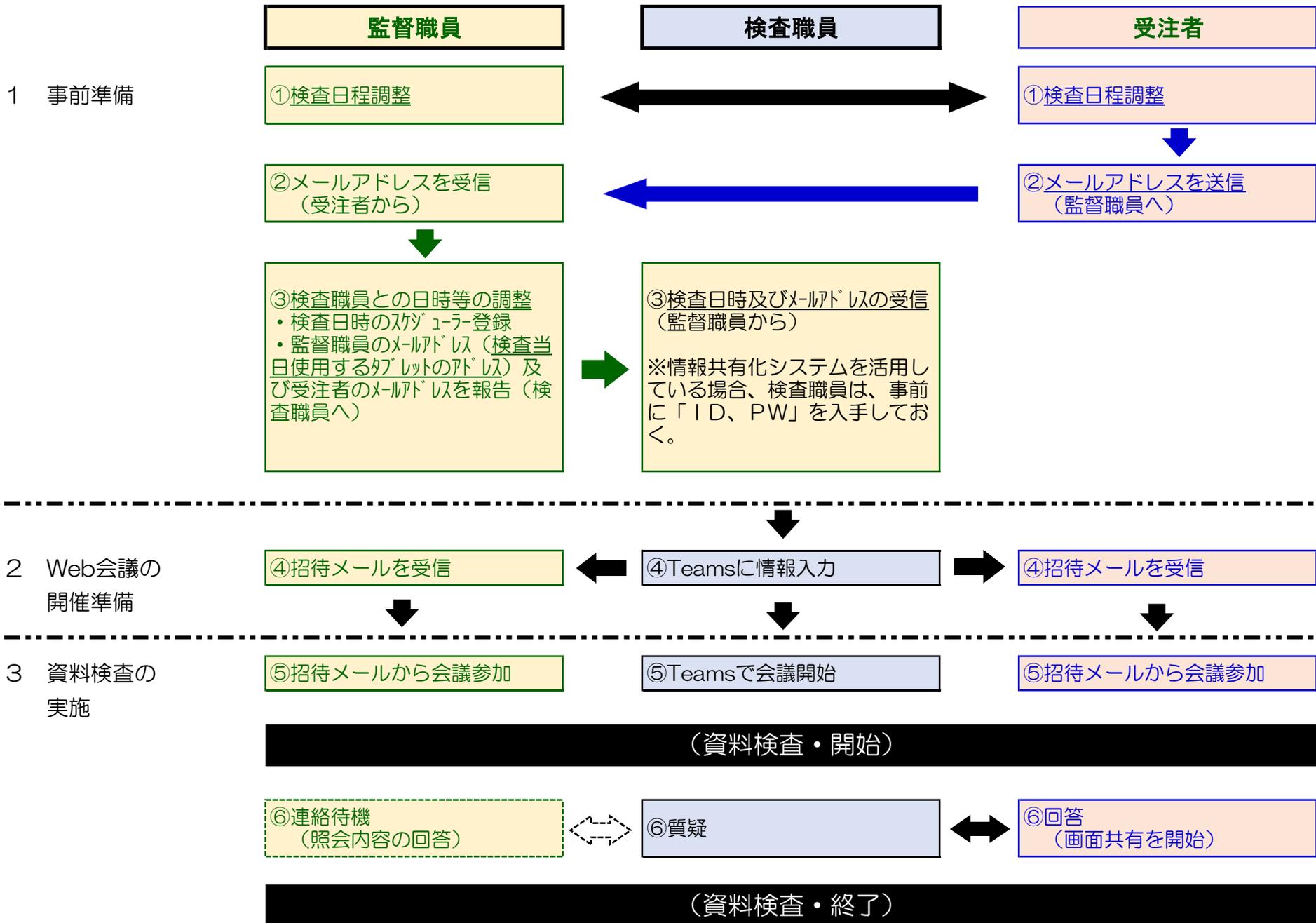
資料検査



実地検査



リモート検査 作業手順マニュアル案 (全体の流れ)



リモート検査 作業手順マニュアル案 (受注者用)

使用するアプリ：Microsoft Teams

必要な機材

- インターネット接続できるノートPC (受検データ格納or接続可)
- 外付けモニター ※必要に応じて。
- (外付けカメラ ※ノートPC内蔵でも可)
- (外付けイヤホン・マイク ※ノートPC内蔵でも可)
- (外付けスピーカー・マイク ※複数人数で参加する場合)

1. 事前準備

- ① 『受注者のメールアドレス』を報告する。
※Web会議に接続するための、招待メールを受信するアドレス。

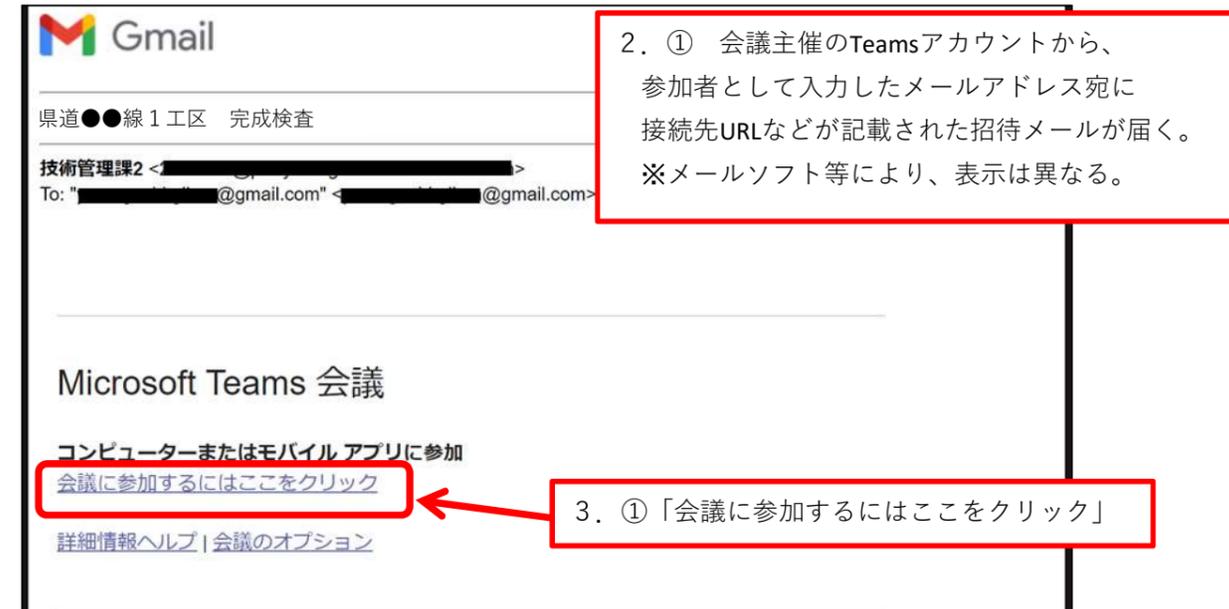
2. Web会議の開催準備 (検査日程決定後)

- ① 招待メールを受信する。
※必要に応じて、接続テスト、リハーサル等を行ってもよい。

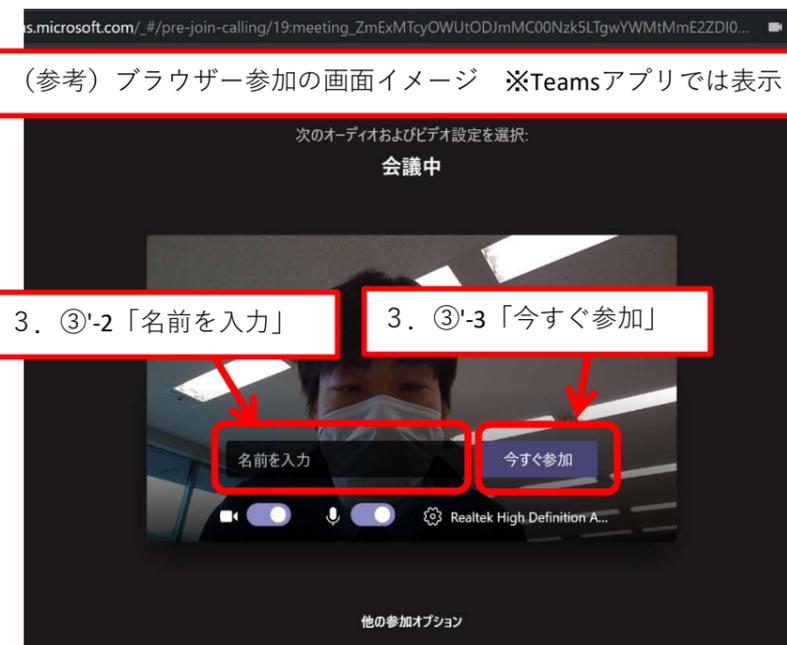
3. 資料検査の実施 (検査当日)

- ① 招待メール「会議に参加するにはここをクリック」。
- ② 会議の参加方法を選択する画面が開く。(どちらでも可)
- ③ 【Teamsアプリをインストール済の場合】
③-1 「Teamsアプリを開く」をクリック
もしくは
- ③' 【Teamsアプリを未インストールの場合】
③'-1 「このブラウザで続ける」をクリック
③'-2 「名前を入力」に会社名・受験者名を入力 (略称可)
③'-3 「今すぐ参加」

… 次ページへ続く



(参考) ブラウザー参加の画面イメージ ※Teamsアプリでは表示されない



リモート検査 作業手順マニュアル案 (受注者用)

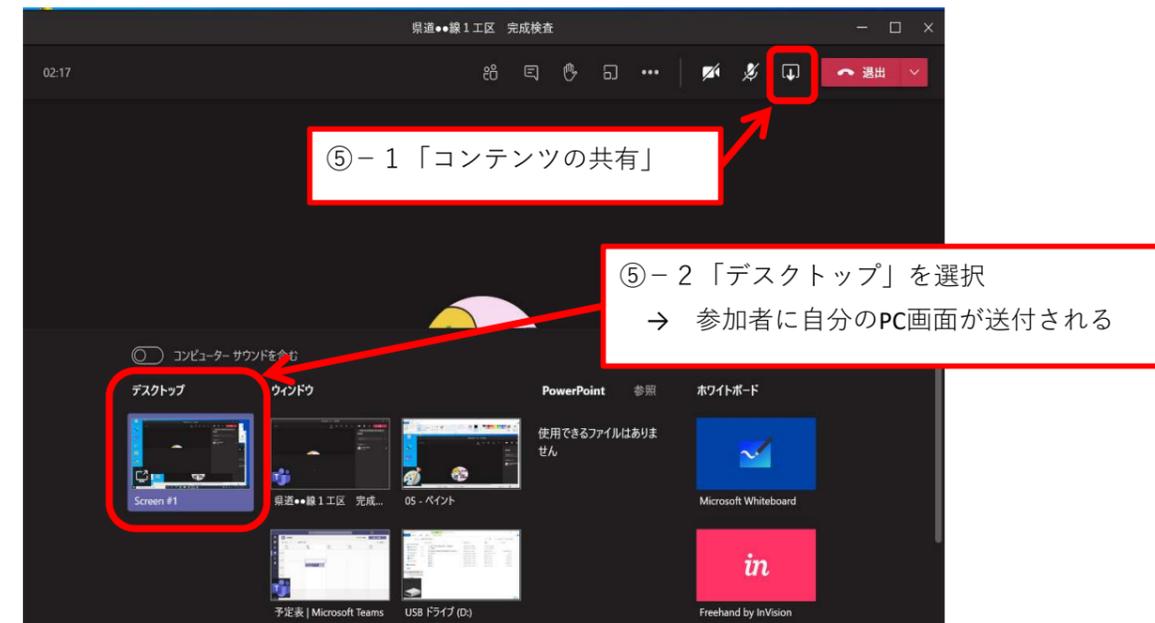
【続き】3. 資料検査の実施 (検査当日)

④ 音声を設定。「コンピュータの音声」を選択し、「今すぐ参加」。
→ Web会議が開始。

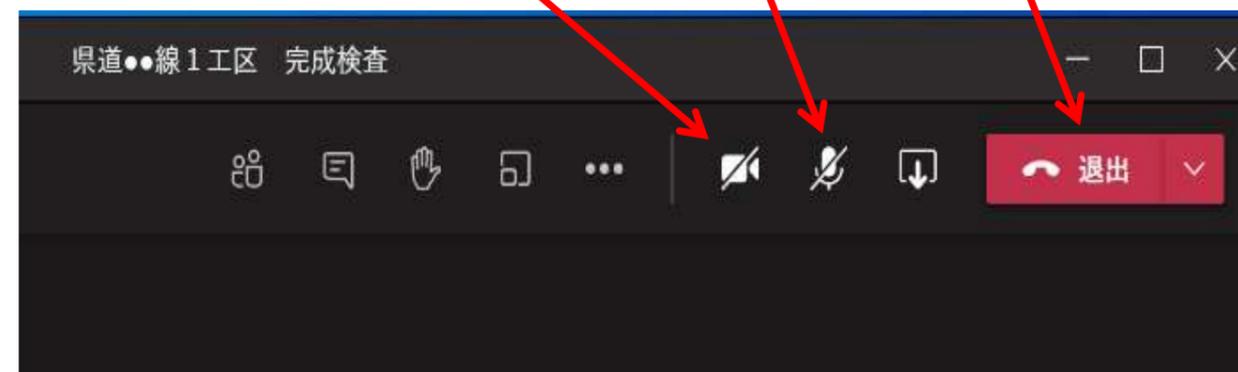
⑤ 「コンテンツを共有」から、「デスクトップ」を選択。
参加者のPC画面に、受注者PCの画面が表示される。

⑥ 「カメラ」「マイク」は、必要時以外はオフでよい。

⑦ 検査を終了するときは、「退出」。
→ Web会議、終了。



⑥ 「カメラ」 オン/オフ切替
⑥ 「マイク」 オン/オフ切替
⑦ 「退出」 → Web会議終了



[位置付け変更後の新型コロナウイルス感染症に関する基本的な感染対策の考え方]

(内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室)

■基本的な感染対策の考え方

【マスクの着用】

個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本。高齢者等重症化リスクの高い者への感染を防ぐため、マスク着用が効果的な場面では、マスクの着用を推奨

【手洗い等の手指衛生、換気】

新型コロナウイルス感染症の特徴を踏まえた基本的感染対策として引き続き有効

【「三つの密」の回避、人と人との距離の確保】

流行期において、高齢者等重症化リスクの高い方は、換気の悪い場所や、不特定多数の人がいるような混雑した場所、近接した会話を避けることが感染防止対策として有効（避けられない場合はマスク着用が有効）

■基本的な感染対策の実施に当たっての考え方

感染対策の見直しに当たっては、以下のように、感染対策上の必要性に加え、経済的・社会的合理性や、持続可能性の観点も考慮

- ・ウイルスの感染経路等を踏まえた期待される対策（飛沫感染対策等）
- ・実施の手間、コスト等を踏まえた費用対効果
- ・人付き合い、コミュニケーションとの兼ね合い
- ・他の感染対策との重複、代替可能性 など

[現在行われている対応(例)と今後の考え方] (厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部)

対応(例)	対策の効果等	今後の考え方
入場時の検温	発熱者の把握や健康管理意識の向上に資する可能性	一律に求めることはしない 実施の可否については、対策の効果(左欄参照)や上記「基本的な感染対策の実施に当たっての考え方」により判断
入口での消毒液の設置	手指の消毒・除菌に効果 希望する者に対し手指消毒の機会の提供	
アクリル板等パーテーション(仕切り)の設置	飛沫を物理的に遮断するものとして有効 エアロゾルについては、パーテーションでは十分な遮断はできず、まずは換気の徹底が重要	

[感染防止の5つの基本] (新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード)

- ① 体調不安や症状がある場合は、無理せず自宅で療養あるいは受診をする。
- ② その場に応じたマスクの着用や咳エチケットの実施
- ③ 換気、三密の回避は引き続き有効
- ④ 手洗いは日常の生活習慣に
- ⑤ 適度な運動、食事などの生活習慣で健やかな暮らしを